

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成27年2月13日
【四半期会計期間】	第28期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	ビジネス・ワンホールディングス株式会社
【英訳名】	Business One Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 尾崎 朝樹
【本店の所在の場所】	福岡市中央区薬院三丁目16番27号
【電話番号】	(092)534-7210
【事務連絡者氏名】	常務取締役業務本部長 兼清 美隆
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区薬院三丁目16番27号
【電話番号】	(092)534-7210
【事務連絡者氏名】	常務取締役業務本部長 兼清 美隆
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第3四半期連結 累計期間	第28期 第3四半期連結 累計期間	第27期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	2,494,470	3,645,107	3,540,144
経常利益 (千円)	135,311	235,800	250,865
四半期(当期)純利益 (千円)	107,363	162,952	159,966
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	107,363	162,952	159,966
純資産額 (千円)	840,950	1,048,208	893,553
総資産額 (千円)	4,712,820	6,271,513	5,654,784
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	25.88	39.28	38.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	17.8	16.7	15.8

回次	第27期 第3四半期連結 会計期間	第28期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.60	9.29

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

第1四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が行う不動産事業の更なる基盤強化を目指し、リフォーム・リノベーション事業を営む株式会社アクロスの発行済株式の全部を取得し子会社化いたしました。これにより当社グループは、当社及び子会社6社により構成されております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、政府による各種経済対策及び日本銀行における大規模な金融緩和を背景に、雇用・所得環境が改善し個人消費が底堅く推移するなど緩やかな回復基調となりました。しかしながら、消費マインドの低下、アメリカの金融緩和縮小による影響、ヨーロッパ、中国やその他新興国経済の動向、地政学リスクなど、不確実性は依然としてあり、引き続き先行きがやや不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化を目的とし、各事業部門の利益確保を意識した収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,645,107千円（前年同期比46.1%増）、営業利益289,199千円（同71.1%増）、経常利益235,800千円（同74.2%増）、四半期純利益162,952千円（同51.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

不動産事業

任売物件を含む買取物件再販事業、競売落札事業とともに、売上は前年同四半期を上回り、また第1四半期連結会計期間に計上されたマンションプロジェクトによる事業利益が業績を底支えいたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は2,368,573千円（前年同期比70.5%増）、セグメント利益204,557千円（同129.7%増）となりました。

マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。今後も企業基盤の強化を図り、業界最大手の「株式会社大京アステージ」との業務提携に基づき、抜本的なインフラの再構築をすすめるとともに、新しいマンション管理の受託を目指し企業基盤の強化を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は830,552千円（前年同期比7.1%増）、セグメント損失5,188千円（前年同期はセグメント損失18,504千円）となりました。

賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、マンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産を基にシナジー効果を最大限発揮し、収益につなげる事業を拡大して行っております。また事業譲受け等により一般管理物件の賃貸管理戸数も増加し、更なる基盤強化を図っております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は、賃貸等不動産の増加に伴い388,504千円（前年同期比100.8%増）、セグメント利益98,892千円（同102.6%増）となりました。

ソフトウェア事業

当第3四半期連結累計期間においては、パッケージソフト販売部門の強化を従来より推し進めておりますが、昨年度から続くマイクロソフト社のOS「WindowsXP」の保守終了に伴う企業のパソコン買い替え需要の終息が業績に影響を与えました。当第3四半期連結累計期間の売上高は141,231千円（前年同期比17.4%減）、セグメント利益36,965千円（同51.5%減）となりました。

ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。当第3四半期連結累計期間は、売上高は13,475千円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益8,931千円（同27.7%増）となりました。

その他の事業

株式会社アクロスを子会社化したことにより、計上される経営指導料及び事務委託手数料が増加しましたが、業容拡大に伴うコスト増加等の要因により、当第3四半期連結累計期間の売上高は165,273千円（前年同期比10.7%増）、セグメント損失37,547千円（前年同期はセグメント損失18,532千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,080,933千円となり、前連結会計年度末に比べ749,076千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が220,188千円、販売用不動産が364,822千円、営業貸付金が132,263千円とそれぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,178,867千円となり、前連結会計年度末に比べ129,221千円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が162,750千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は6,271,513千円となり、前連結会計年度末に比べ616,729千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,245,412千円となり、前連結会計年度末に比べ181,191千円増加いたしました。これは主に短期借入金が30,532千円、1年内償還予定の社債が120,000千円、1年内返済予定の長期借入金が24,486千円とそれぞれ増加したことによるものであります。固定負債は2,977,893千円となり、前連結会計年度末に比べ280,882千円増加いたしました。これは主に長期借入金が303,932千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,223,305千円となり、前連結会計年度末に比べ462,074千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,048,208千円となり、前連結会計年度末に比べ154,654千円増加いたしました。これは四半期純利益162,952千円及び剰余金の配当8,297千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は16.7%（前連結会計年度末は15.8%）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費は5,266千円であり、ソフトウェア事業における販売ソフト「消防くん」のプログラム修正やAndroid（アンドロイド）アプリの開発など、次期成長戦略のベースとなるソフトウェアの開発活動に活かしております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,568,800
計	16,568,800

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,148,900	4,148,900	福岡証券取引所 (Q-Board)	単元株式数 100株
計	4,148,900	4,148,900	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	4,148,900	-	436,034	-	-

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	-	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 4,148,900	41,489	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	4,148,900	-	-
総株主の議決権	-	41,489	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人ハイビスカスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	524,819	745,007
受取手形及び売掛金	135,559	107,836
販売用不動産	1,398,739	1,763,562
商品及び製品	-	18,534
原材料及び貯蔵品	739	1,252
営業貸付金	198,436	330,700
その他	138,342	199,937
貸倒引当金	64,781	85,898
流動資産合計	2,331,856	3,080,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,337,654	1,174,903
土地	1,699,653	1,797,268
その他	42,512	15,191
有形固定資産合計	3,079,819	2,987,364
無形固定資産		
のれん	169,324	134,575
その他	15,913	14,253
無形固定資産合計	185,238	148,828
投資その他の資産	43,031	42,674
固定資産合計	3,308,088	3,178,867
繰延資産	14,839	11,713
資産合計	5,654,784	6,271,513
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,884	43,250
短期借入金	1,339,897	1,370,429
1年内償還予定の社債	-	120,000
1年内返済予定の長期借入金	365,937	390,423
未払法人税等	33,064	38,236
賞与引当金	20,000	19,800
その他	261,437	263,272
流動負債合計	2,064,220	2,245,412
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	2,171,446	2,475,378
その他	175,564	152,514
固定負債合計	2,697,010	2,977,893
負債合計	4,761,231	5,223,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	457,519	612,173
株主資本合計	893,553	1,048,208
純資産合計	893,553	1,048,208
負債純資産合計	5,654,784	6,271,513

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,494,470	3,645,107
売上原価	1,865,158	2,803,502
売上総利益	629,311	841,605
販売費及び一般管理費	460,334	552,406
営業利益	168,977	289,199
営業外収益		
受取利息	31	88
受取配当金	44	44
受取保険金	706	2,152
助成金収入	2,550	1,800
消費税等調整額	-	4,938
その他	634	1,920
営業外収益合計	3,965	10,944
営業外費用		
支払利息	35,987	57,718
社債利息	-	2,139
その他	1,643	4,484
営業外費用合計	37,631	64,342
経常利益	135,311	235,800
特別利益		
固定資産売却益	-	2,966
特別利益合計	-	2,966
特別損失		
減損損失	871	-
損害賠償金	2,515	-
固定資産除却損	-	121
貸倒引当金繰入額	-	21,556
特別損失合計	3,387	21,678
税金等調整前四半期純利益	131,924	217,089
法人税、住民税及び事業税	24,560	54,136
法人税等合計	24,560	54,136
少数株主損益調整前四半期純利益	107,363	162,952
少数株主利益	-	-
四半期純利益	107,363	162,952

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	107,363	162,952
四半期包括利益	107,363	162,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,363	162,952
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社アクロスの全株式を取得し子会社としたため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

(1) 支払承諾

当社は、競売落札事業に伴う入札保証金について、金融機関と支払承諾契約を締結しております。支払承諾契約に基づく実行残高は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
株式会社S B J銀行	11,077千円	6,250千円
株式会社西日本シティ銀行	12,722千円	3,020千円
株式会社福岡銀行	21,512千円	2,480千円
株式会社北九州銀行	4,924千円	1,628千円
株式会社親和銀行	- 千円	1,580千円
実行残高合計	50,235千円	14,958千円

(2) 保証債務

下記の会社に対し、債務保証を行っております。

		前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
株式会社ジェイ企画	銀行借入金	179,662千円	130,754千円
株式会社アクロス	銀行借入金	18,000千円	- 千円
合同会社アクロス荒江ザ・レジデンス	営業取引債務	319,766千円	- 千円
計		517,428千円	130,754千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
減価償却費	39,902千円	61,520千円
のれんの償却額	18,558千円	39,565千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月13日 取締役会	普通株式	8,297	200	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月12日 取締役会	普通株式	8,297	200	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業	その他の事業	合計
売上高							
外部顧客への売上高	1,364,290	763,737	187,955	162,856	12,169	3,461	2,494,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,665	11,543	5,567	8,032	-	145,874	195,682
計	1,388,955	775,280	193,522	170,888	12,169	149,335	2,690,152
セグメント利益又は損失()	89,065	18,504	48,805	76,242	6,995	18,532	184,072

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	184,072
のれんの償却額	18,558
セグメント間取引消去	1,138
その他の調整額	2,325
四半期連結損益計算書の営業利益	168,977

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業	その他の事業	合計
売上高							
外部顧客への売上高	2,300,489	808,993	368,144	136,782	13,475	17,222	3,645,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	68,084	21,558	20,359	4,449	-	148,051	262,503
計	2,368,573	830,552	388,504	141,231	13,475	165,273	3,907,611
セグメント利益又は損失（ ）	204,557	5,188	98,892	36,965	8,931	37,547	306,610

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	306,610
のれんの償却額	39,565
セグメント間取引消去	455
その他の調整額	22,609
四半期連結損益計算書の営業利益	289,199

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（金融商品関係）

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

（有価証券関係）

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

（デリバティブ取引関係）

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

（企業結合等関係）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	25円88銭	39円28銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	107,363	162,952
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	107,363	162,952
普通株式の期中平均株式数(株)	4,148,900	4,148,900

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月12日

ビジネス・ワンホールディングス株式会社
取締役会 御中

監査法人ハイビスカス

指 定 社 員 公 認 会 計 士 堀 俊 介 印
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 堀 口 佳 孝 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているビジネス・ワンホールディングス株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ビジネス・ワンホールディングス株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。